

座長：松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教授)

束村博子(名古屋大学大学院生命農学研究科教授・男女共同参画センター長)

- (1)「医療職の働き方改革を考える」
松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教授)
- (2)「育児中の女医が女性医師支援について考える」
千葉三保(独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院消化器内科部長)
- (3)「看護職における働き方改革－勤務表作成を通して－」
眞野恵子(学校法人藤田学園藤田医科大学病院副院長・看護部長)
- (4)「組織の活性化戦略として女性活躍促進～誰もが輝く医療現場のために～」
束村博子(名古屋大学大学院生命農学研究科教授・男女共同参画センター長)

7月20日(土)10:10～12:00 M会場

10.「アドバンス・ケア・プランニング エンドオブライフ・ディスカッション」

座長：三浦久幸(国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長)
鈴木正子(愛知県看護協会会長)

- (1)「ACPをすすめるチーム医療。そのとき医師の役割は？」
會津恵司(春日井市民病院がん相談支援センター部長)
- (2)「人生の最期をどう支えるか～アドボケートナースとして～」
横江 由理子(いきいき在宅クリニック看護部長)
- (3)「病院内・地域で推進する当事者支援 ソーシャル・ワーカーの立場から」
野田智子(JA愛知厚生連江南厚生病院地域医療福祉連携室室長)
- (4)「地域包括ケアのしくみを活かせるアドバンスケアプランニング人材の育成～あいちACPプロジェクト～」
後藤友子(国立長寿医療研究センター在宅連携医療部研究員)

特別発言：大島伸一(国立長寿医療研究センター名誉総長)

7月20日(土)13:30～15:10 L会場

11.「地域共生社会創成に向けて 多職種間コミュニケーションの重要性」

座長：水野正明(名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター長・病院教授)

野田正治(愛知県医師会理事)

イントロダクション：水野正明(名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター長・病院教授)

- (1)「電子@連絡帳による多職種連携の実際」
山内智之(豊橋市医師会 医療法人廣姫会 田代ひ尿器科院長)
- (2)「海部医療圏における在宅医療・介護連携について」
池戸初枝(津島 在宅医療介護連携支援センターコーディネーター)
- (3)「健康サポート薬局の役割と展望」
森 道成(日進市 オリーブ薬局 代表取締役)
- (4)「多職種連携における行政の役割」
丸山晋二(衣浦東部保健所長)
- (5)「0～100歳 つなぐ・つながる きずな流 まちづくりの実践」
山崎 紀恵子(東浦町 NPO法人絆 代表理事)

7月20日(土)13:30～15:10 M会場

12.「機器管理スマート医療機器が医療安全・業務効率を変えるか」

座長：酒井順哉(名城大学都市情報学部都市情報学科教授)
神戸幸司(愛知県臨床工学技士会会長)

- (1)「ロボット麻酔システムによる麻酔薬投与は医療安全・業務効率を変えるか」
重見研司(福井大学医学部附属病院麻酔蘇生科科長・教授)
- (2)「Robot PCIがカテ室業務をどう変えるか？」
横井宏佳(福岡山王病院循環器センター長・国際医療福祉大学教授)
- (3)「医療機器の利用データを活用した適正台数の検討」
加藤博史(神戸大学医学部附属病院臨床工学技士長)
- (4)「業務量測定を活用した看護部門の業務変革」
清水由美(山口県立総合医療センター看護部長)

7月20日(土)13:30～15:10 D会場

13.「地域包括ケアシステム構築・推進に必要な地域医療連携とは～地域医療連携での医療福祉連携士の必要性と期待～」